

日本薬科大学 2021年度 「漢方アロマコース」 講義スケジュール (e-ラーニングコース、フルコース共通)

公開時期	分類	科目名	時間	必修	選択	講師	講師所属	到達目標 (授業内容)	薬剤師研修 シール対象 科目シール 枚数	NR・サブ リメントア ドバイザー 単位対象科目	日本薬大漢 方エキス パート受験資 格対象科目	企業, 実務家 教員, 双方 向, 実地体 験科目
4月前半	01 導入	統合医療概論①	1.5	○		新井 一郎	日本薬科大学	統合医療とは何か、本コースの学び方を理解する。				1.5
4月前半	01 導入	統合医療概論②	1.5	○		新井 一郎	日本薬科大学	統合医療とは何か、本コースの学び方を理解する。				1.5
4月後半	02 漢方	漢方概論①	1.5	○		新井 一郎	日本薬科大学	漢方の全体像について理解する。	1		○	1.5
4月後半	02 漢方	漢方概論②	1.5	○		新井 一郎	日本薬科大学	漢方の全体像について理解する。	1		○	1.5
4月後半	03 生薬	植物の医薬品への応用	1.5	○		藤原 裕未	日本薬科大学	植物や植物成分の医薬品への応用について理解する。	1		○	
4月後半	03 生薬	身近な薬草	1.5	○		河野 徳昭	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター	身近にみられる薬用植物について理解する。	1		○	
4月後半	09 ハーブ	四季のハーブの栽培と活用 春編	1.5		○	小早川 愛	株式会社 ポタジェ・ガーデン	家庭でできる春のハーブの栽培およびその食や生活への活用法を理解する。				1.5
5月前半	02 漢方	漢方における病気のとらえ方	1.5	○		新井 信	東海大学	気血水や、六病位などで、我が国に特徴的な漢方の理論を理解する。	1		○	1.5
5月前半	02 漢方	漢方診断学	1.5	○		橋本 寛子	日本薬科大学	漢方の四診について理解する。	1		○	1.5
5月前半	03 生薬	生薬学①	1.5	○		山路 誠一	日本薬科大学	生薬の定義と、生薬に関する基本概念を理解し、漢方薬と生薬の関係を概説できる。	1		○	
5月前半	05 中医学・韓医学	中医学基礎	1.5		○	柴山 周乃	第一薬科大学	中医学の基礎を理解する。				
5月後半	02 漢方	漢方症例解説①	1.5	○		橋本 寛子	日本薬科大学	症例をもとに漢方を理解する。	1		○	1.5
5月後半	02 漢方	漢方古典解説①	1.5	○		緒方 千秋	北里大学	漢方の歴史を、古典をもとに理解する。	1		○	
5月後半	03 生薬	生薬学②	1.5	○		山路 誠一	日本薬科大学	生薬の定義と、生薬に関する基本概念を理解し、漢方薬と生薬の関係を概説できる。	1		○	
5月後半	06 インド医学	ヨガ	1.5		○	佐々木 合敏	FLOW ARTS YOGA	ベーシックなヨガの方法、およびヨガを行なうことが心身に及ぼす影響を知る。				
5月後半	08 食	マクロビオティック	1.5		○	高橋 美恵	Mie's Recipieクッキングサロン	マクロビオティック理論を理解し、バランスの取れた健康的な食生活のためにマクロビオティックを活用することの可能性について理解する。				
5月後半	13 その他	お香	1.5		○	渡辺 えり代	香研究会 IRI	お香の歴史、及び、香りの効果を理解する。				
6月前半	02 漢方	漢方症例解説②	1.5	○		橋本 寛子	日本薬科大学	症例をもとに漢方を理解する。	1		○	1.5
6月前半	02 漢方	漢方古典解説②	1.5	○		緒方 千秋	北里大学	漢方の歴史を、古典をもとに理解する。	1		○	
6月前半	02 漢方	漢方処方学①	1.5	○		糸数 七重	日本薬科大学	代表的な漢方処方について理解する。	1		○	
6月前半	03 生薬	生薬学③	1.5	○		山路 誠一	日本薬科大学	生薬の定義と、生薬に関する基本概念を理解し、漢方薬と生薬の関係を概説できる。	1		○	
6月後半	02 漢方	漢方古典解説③	1.5	○		緒方 千秋	北里大学	漢方の歴史を、古典をもとに理解する。	1		○	

6月後半	02 漢方	漢方処方学②	1.5	○		糸数 七重	日本薬科大学	代表的な漢方処方について理解する。	1		○	
6月後半	02 漢方	市販漢方薬の選び方	1.5	○		長島 義昌	株式会社 クラシエ製薬	漢方の体質区分の概略を把握し、市販漢方薬の適切な選び方を理解する。	1		○	1.5
6月後半	03 生薬	薬局製剤としての漢方薬	1.5	○		鈴木 聖子	平安堂薬局	漢方相談薬局における煎じ薬の処方について理解する。	1		○	1.5
6月後半	08 食	薬膳	1.5		○	阪口 珠未	漢方キッチン	薬膳の基本的な考え方や自然界と体の関りなどを学ぶ。身近な食材で、薬に頼らず健康を保つために薬膳を食生活にいかに関活用するかを理解します。				1.5
7月前半	02 漢方	漢方古典解説④	1.5	○		緒方 千秋	北里大学	漢方の歴史を、古典をもとに理解する。	1		○	
7月前半	02 漢方	漢方処方学③	1.5	○		糸数 七重	日本薬科大学	代表的な漢方処方について理解する。	1		○	
7月前半	02 漢方	漢方薬の副作用	1.5	○		本間 真人	筑波大学	漢方薬の副作用について理解する。	1		○	1.5
7月前半	09 ハーブ	四季のハーブの栽培と活用 夏編	1.5		○	小早川 愛	株式会社 ポタジェ・ガーデン	家庭でできる夏のハーブの栽培およびその食や生活への活用法を理解する。				1.5
7月後半	02 漢方	がんと漢方	1.5	○		福田 一典	銀座東京クリニック	がん治療における漢方の使い方をエビデンスに基づいて理解する。	1		○	1.5
7月後半	03 生薬	薬食同源	1.5	○		野口 博司	日本薬科大学	お茶のような機能性の認知されている食品や、山椒や生姜のように、漢薬として不可欠な食品について理解する。	1		○	
7月後半	11 手技療法	カイロプラクティック概論	1.5		○	竹谷内 啓介	東京カイロプラクティック	カイロプラクティックの概要を理解する。				1.5
7月後半	11 手技療法	あんま・マッサージ・指圧概論	1.5		○	石田 大弥	牧田総合病院	あん摩マッサージ指圧の医学的理論を概ね理解する。				1.5
8月前半	06 インド医学	アーユルヴェーダ応用論	1.5		○	石原 久美	Stonefield, Inc.	アーユルヴェーダ理論に基づいたボディケアの方法論を知り、健やかさ、美しさの維持におけるアーユルヴェーダ活用の可能性について理解する。				
8月前半	08 食	和食	1.5		○	北本 勝ひこ	日本薬科大学	和食の持つ可能性を、麴を中心に理解する。				
8月前半	09 ハーブ	ハーブやアロマから始まる『well-being』ケア	1.5		○	青山 泉	東海大学医療技術短期大学	心と身体が健康で美しく、満ち足りた暮らしを送る、それが『well-being』。この観点から心身共に豊かな生活を目指すアロマやハーブの効果的な活用方法を学ぶ。				
8月後半	02 漢方	漢方薬の製造	1.5	○		新井 一郎	日本薬科大学	漢方製剤の製造、品質管理について理解する。	1		○	1.5
8月後半	05 中医学・韓医学	中国における中医学の現状	1.5		○	張国霞	天津中医薬大学	中国において、中医学がどのように行われているかを理解する。				
8月後半	05 中医学・韓医学	韓国統合医療事情	1.5		○	佐々木 裕伊	一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会	韓医学や韓国の健康食品の状況を理解する。				
8月後半	11 手技療法	柔道整復概論	1.5		○	加藤 稔啓	関東柔道整復専門学校	1. 柔道整復の成り立ちを理解する。 2. 柔道整復師と他の資格者（コメディカルを含む）との違いを理解する。 3. 柔道整復が対象とする外傷と施術の概要を理解する。				1.5
9月前半	05 中医学・韓医学	生活に生かす中医学・秋冬	1.5		○	柴山 周乃	第一薬科大学	中医学を生活に生かす方法を理解する。				
9月前半	05 中医学・韓医学	大長今（宮廷女官チャングムの誓い）を介して見る薬膳治療	1.5		○	チョ・キホ	慶熙大学校	韓国ドラマ大長今（テ・チャングム）の内容を使用して薬膳治療の実際を学習する。				
9月前半	06 インド医学	アーユルヴェーダ概論	1.5		○	及川 史歩	日本アーユルヴェーダ・スクール	アーユルヴェーダを、医学の立場から理解する。				
9月前半	10 美容	メイクセラピー	1.5		○	豊永 純子	Sunotice	メイクセラピーの方法論について知り、メイクアップが心身に及ぼす影響やメイクによって作り出せる社会的な反応の変化について理解する。				
9月後半	03 生薬	漢方薬の原料はどこから来るか	1.5	○		浅間 宏志	(株) ウチダ和漢薬	漢方薬の原料の植物は、どこで作られ、どのように運ばれて漢方薬になるかを理解する。	1		○	1.5
9月後半	04 アロマ	アロマセラピー概論	1.5	○		千葉 良子	日本薬科大学	アロマセラピーの基礎を理解し、美容と健康に活用できる。				

9月後半	05	中医学・韓医学	台湾における中医学の現状	1.5		○	林香汶	中国医薬大学	台湾において、中医学がどのように行われているかを理解する。				
9月後半	05	中医学・韓医学	韓薬治療と鍼灸治療を併用する韓医学の特徴	1.5		○	クオン・スンウォン	慶熙大学校	韓薬治療と鍼灸治療を同時に使用する韓国の韓医学の特徴をしてみる。				
10月前半	04	アロマ	アロマボディケア	1.5		○	中山 恵美子	医療法人社団平成医会グループ	①アロマセラピーを用いたボディケアの方法やボディケアに用いる精油の選び方・ブレンド法について知る。②アロマセラピーに用いる各種精油の性質・特徴について知る。				
10月前半	04	アロマ	アロマセラピー精油学基礎①	1.5		○	久保 浩子	オリエンタル・アロマセラピー・カレッジ	アロマセラピーに用いる精油の基本的な扱い方について知る。				1.5
10月前半	05	中医学・韓医学	韓国の高麗人参と紅参	1.5		○	チャ・ヨヨン	韓国人参公社	高麗人参と紅参の歴史、栽培、製造方法、効能などを全般的に理解する。				1.5
10月前半	09	ハーブ	四季のハーブの栽培と活用 秋編	1.5		○	小早川 愛	株式会社 ポタジェ・ガーデン	家庭でできる秋のハーブの栽培およびその食や生活への活用法を理解する。				1.5
10月後半	04	アロマ	アロマセラピー精油学基礎②	1.5		○	久保 浩子	オリエンタル・アロマセラピー・カレッジ	アロマセラピーに用いる各種精油の性質・特徴について知る。				1.5
10月後半	11	手技療法	美容鍼灸	1.5		○	松本 絹恵	お茶の水はりきゅう専門学校	美容鍼灸を概説し、女性の美を介した社会貢献について理解する。				1.5
10月後半	11	手技療法	鍼灸で身近な疾患を治す	1.5		○	原田 晃	お茶の水はりきゅう専門学校	数千年の歴史を持つ鍼灸術の経験則から導かれた治療理論の基礎を理解する。				1.5
10月後半	11	手技療法	フェイシャルエステ	1.5		○	片山 玲美	お茶の水はりきゅう専門学校	フェイシャルケアの基礎知識を学び、正しいセルフケアを行えるようにする。				1.5
11月前半	04	アロマ	欧州におけるアロマセラピー	1.5		○	リアノン・ルイス	エッセンシャル・オイル・コンサルタンツ	イギリスおよびフランスを中心とした欧州におけるアロマセラピーの用いられ方について理解する。				
11月前半	06	インド医学	インド医学①	1.5		○	アヌバマ・キザックヴェッティル	南カリフォルニア健康科学大学	インドおよび米国におけるアーユルヴェーダの用いられ方について理解する。				
11月前半	06	インド医学	ニューヨーク統合医療事情	1.5		○	岸 美佐	医師、公衆衛生学博士	米国の統合医療事情を、ニューヨークのヨガセラピーを中心に理解する。				
11月前半	10	美容	植物成分の化粧品への応用	1.5		○	鈴木 翔多朗	株式会社 アルビオン	化粧品に利用される植物成分に関して概説し、これらの有用性を理解する。				1.5
11月後半	06	インド医学	インド医学②	1.5		○	ジャヤゴパル・パルラ	南カリフォルニア健康科学大学	インドおよび米国におけるアーユルヴェーダの用いられ方について理解する。				
11月後半	07	健康食品	健康食品に対する誤解と正しい利用	1.5		○	池田 秀子	一般社団法人 日本健康食品規格協会	健康食品を正しく使う方法について理解する。	1	3		1.5
11月後半	08	食	スパイス学	1.5		○	井上 和人	井上スパイス工業株式会社	スパイスの効能について理解する。 スパイスの基本的作用				1.5
12月前半	07	健康食品	日本・欧米での健康・健康食品に対する考え方の違い	1.5		○	松林 秀貴	サントリー食品インターナショナル株式会社	日本で健康食品業務に従事する方、もしくは健康食品に興味のある方に対し、今後どのような方向に日本健康食品は向かうのか、の一つの考え方指針を学ぶ。	1	3		1.5
12月前半	07	健康食品	健康になるための食品の選び方 ①食品表示を学ぼう/②機能性表示を学ぼう	1.5		○	鬼頭 志保/吉岡 加奈子	一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会	食品表示について理解する。	1	3		
12月前半	13	その他	温泉学① 温泉の基礎知識	1.5		○	石川 泰弘	順天堂大学協力研究員 博士（スポーツ健康科学）	泉質の違いや温泉の効果を科学的及び生理学的視点で理解する。				1.5
12月後半	07	健康食品	機能性表示食品への企業の取組み	1.5		○	寺本 祐之	株式会社ファンケル	機能性表示食品の開発について理解する。	1	3		1.5
12月後半	07	健康食品	ヨーグルトとプロバイオティクス	1.5		○	西田 聡	ダノンジャパン株式会社	消化管における腸内細菌の役割と、プロバイオティクスの作用を理解する。	1	3		1.5
12月後半	07	健康食品	台湾における中薬を用いた健康食品の開発	1.5		○	呉金濱	日本薬科大学	台湾における中薬由来の健康食品とその開発について理解する。				
12月後半	13	その他	温泉学② 温泉の生理学的効果と健康への活用	1.5		○	石川 泰弘	順天堂大学協力研究員 博士（スポーツ健康科学）	泉質の違いや温泉の効果を科学的及び生理学的視点で理解する。				1.5
1月前半	04	アロマ	ハーブとアロマを用いた女性の不調ケア	1.5		○	青山 泉	東海大学医療技術短期大学	女性特有の不調に対する、ハーブやエッセンシャルオイルを活かしたケアの方法について理解する。				

1月前半	09 ハーブ	四季のハーブの栽培と活用 冬編	1.5		○	小早川 愛	株式会社 ポタジェ・ガーデン	家庭でできる冬のハーブの栽培およびその食や生活への活用法を理解する。				1.5
1月前半	10 美容	アンチエイジング①	1.5		○	井上 裕子	日本薬科大学	アンチエイジングにおける遺伝子、細胞医学、酸化ストレス、免疫、代謝、ホルモン、脳の関わりを理解する。アンチエイジング医学に基づき美容と健康をめざす生活習慣改善法を理解する。				
1月後半	10 美容	アンチエイジング②	1.5		○	井上 裕子	日本薬科大学	アンチエイジングにおける遺伝子、細胞医学、酸化ストレス、免疫、代謝、ホルモン、脳の関わりを理解する。アンチエイジング医学に基づき美容と健康をめざす生活習慣改善法を理解する。				
1月後半	12 未病	「現代未病」の社会への応用	1.5		○	福生 吉裕	日本未病総合研究所	ウイズコロナ時代の未病の概念と、コロナサイバルとしての未病ケアの取り入れ方を理解する。				1.5
1月後半	12 未病	長寿を元気に過ごす未病の食生活、コロナ前とウイズコロナの食生活	1.5		○	吉岡 淳子	中野区フリー活動栄養士会	栄養の視点から未病の捉え方を理解する。				1.5
1月後半	12 未病	未病臨床検査の捉え方 ー学際的考察と実例を通じてー	1.5		○	丸山 篤芳	松阪地区医師会臨床検査センター	現代社会における未病臨床検査の捉え方を理解する。				1.5
1月後半	12 未病	未病改善の実践	1.5		○	早乙女 和雄	日本未病総合研究所	未病の概念と、実践的な考え方を理解する。				1.5